

門川京都市長を囲んで 「第83回おむすびミニイベント開催」

7月3日、区役所前花壇にて、花と緑のまちづくりサポーターの皆さんが門川市長と一緒にポテトチップスの植栽と、仙台市の東日本大震災被災地仮設住宅へ配送する花苗の外箱に応援メッセージを書き込みました。



お花の肥料を助成します

山科区を、花と緑にあふれた潤いのあるまちにしてみませんか。花苗や種の植え付けを行う団体に肥料(年額3,000円以内)を助成します。

●対象/公共用地や多くの方が鑑賞できる所に花苗、種の植え付けを行う5名以上の団体(上限10団体)

●申し込み方法/8月17日(月)から先着順。申請書(申し込み先で配布・区ホームページに掲載)に記入のうえ、申し込み先まで郵送または持参

●申し込み・問い合わせ先/区まちづくり推進担当
(☎592-30888 ☎607-8511(住所記入不要))

「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰 百々地域女性会が受賞

花と緑の愛護に顕著な功績のあった民間の団体に対して贈られる「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を「百々地域女性会」が受賞しました。

百々地域女性会は、百々地域における美化活動の一環として、平成14年6月から歩道の清掃、街路樹の植樹ますへのマツバギクの植栽や、定期的な補植活動を行われていま

す。この度、百々地域女性会のこれまでの熱心な取組が評価され受賞にいたしました。

●問い合わせ先/区まちづくり推進担当(☎592-30888)



区役所玄関を飾る「七夕の笹飾り」

「大きくなったら〇〇〇になれますように!」「〇〇〇が上手になりますように!」

洛東幼稚園と西念寺保育園からいただいた笹飾り。園児さんの心を込めた色とりどりのお飾りと願い事に、来庁者のお顔も思わずほころびました。皆さんの願い事が、きっとかないますように。

●問い合わせ先/区支援課支援第一担当(☎592-3247)



9月23日(水・祝)

京都サンガF.C. 山科区民デー VS ファジアーノ岡山

100組200名様を無料でご招待!!

クラブ一丸となって戦う京都サンガF.C.。西京極スタジアムで京都サンガF.C.と山科区出身の駒井選手を応援しよう!

●日時/

9月23日(水・祝)午後5時キックオフ
●会場/西京極陸上競技場兼球技場

招待券申し込み方法

次のQRコードから申し込みか、往復はがきに次の事項を記載しお申し込みください(8月31日(月)必着)。

往信用表面(あて先)



〒610-0102 城陽市久世上大谷89-1
京都サンガF.C. 山科区民デー招待係

往信用裏面 ①山科区民デー招待②住所③代表者氏名(ふりがな)④電話番号⑤代表者氏名(ふりがな)⑥電話

返信用表面(記入不要)

※応募多数の場合は、抽選(抽選に漏れた方には優待券を送付)。応募は区内在住の方に限る。

●問い合わせ先/京都サンガF.C. ホームタウン推進課(☎0774-557603)



駒井善成選手(山科区出身)

区民バレーボールカーニバル

6月21日に「第39回山科区民バレーボールカーニバル」が、山階南小学校と百々小学校の各体育館で開催されました。22チームが出場し、各チームともに日ごろの練習の成果を発揮し、白熱した戦いが繰り広げられました。優秀チーム(グループ内2戦2勝)は以下のとおりです。

- 山階体育振興会Bチーム
- 鏡山体育振興会Aチーム
- 山階南体育振興会Bチーム
- 百々体育振興会チーム
- 大塚体育振興会Bチーム
- 小野体育振興会チーム
- 音羽川体育振興会Bチーム



●問い合わせ先/区まちづくり推進担当(☎592-3088)

生活安全スポットニュース

自転車運転者講習制度がスタート

6月1日から、改正道路交通法が施行され、悪質・危険な自転車運転者に対する講習制度が始まりました。信号無視や一時不停止等特定の危険行為(14項目)を3年以内に2回以上繰り返すと「自転車運転者講習」の受講が命じられます。

歩行や車の運転にルールがあるように、自転車の運転にもルールがあります。運転のルールを正しく守り、安全運転を心がけましょう。

運転者が14項目の特定の危険行為を3年以内に2回以上繰り返す

公安委員会による自転車運転者講習の受講命令(※)

自転車運転者講習の受講(講習時間:3時間、講習手数料:5,700円)

(※)受講命令に従わなかった場合は5万円以下の罰金。

●問い合わせ先/山科警察署(☎575-0110)

第34回

みんな「第2期山科区基本計画」に取り組もう! 区民活動きずなリレー

将棋を通じて子どもの健全な育成を「と金クラブ」(山科、きずな支援事業補助金交付事業)

「お願いします!」子どもたちの元気な声が響き渡るのは西野児童館のしょうぎクラブ。月に2回の活動に将棋の先生として来られているのが「と金クラブ」のみなさんです。

この日参加した子どもは7人。「と金クラブ」からは仲さん、鳥居さん、小倉さんの3人の指導員が駒の動かし方を指導したり、子ども同士で対局したりして約1時間活動しました。「と金クラブ」は、特定非営利活動法人山科未来地図E-wa(イーわ)山科の会員の将棋クラブとして発足し、平成19年から児童館で将棋を通じて子どもの健全な心身の成長育成を図る活動を始め、現在9年目を迎えています。

会長の仲さんによると、山階児童館で始まった活動が評判となり、現在では4つの児童館に広がり、今年からは安祥寺中学校の総合学習も担当しているとのこと。西野児童館のしょうぎクラブは今年で3年目、子どもたちに今日の感想を聞くと「勝ったのが楽しい!」「疲れた。もう頭がうごかへん!」などの声が返ってきました。

角谷館長によると「将棋はルールを覚えて勝負をするのももちろん楽しいですが、お願いします、負けました、ありがとうございます、とあいさつをすることが大事で、礼儀を学

ぶことができます。普段はちゃんとした子どもでも、将棋をしている間は集中し、初めと終わりに「はじめと終わりに」はきちんとあいさつができるようになってきているのが、感動的です。このこと。クラブの終わりでは、指導員の先生に「ありがとうございました!」と大きな声であいさつして子どもたちは遊びの部屋に戻っていきま



仲さんは「将棋は審判がいらないからお互いに相手のことを信頼する必要があります。自然にコミュニケーションの力がつきます。相手の手を『待つ』ことができるようになるのも成長の証でしょう。」と語ります。「今日は人数が少なかったですが、子どもの数が多い児童館では駒や盤を用意するのが大変です。山科、きずな支援事業によって将棋盤などを購入でき、とても助かっています。とてもおっしやいます。指し手を見守る」とと金クラブの方たちの暖かいまなざし。子どもたちのにぎやかな声のあふれる児童館の中、しょうぎクラブの部屋では、ゆったりとした時間が流れていました。

●問い合わせ先/区総務・防災担当(☎592-30666)